

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A等の事業承継支援、取引先のテレワーク導入支援等）
 - 各分野において、取引先や関係機関との連携を深め、オープンイノベーションや共同提案、共同開発等を推進します。
- b. IT実装支援（共通EDIの構築、データの相互利用、IT人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援等）
 - 受発注業務の効率化、情報共有の高度化、データの利活用推進等を通じて、サプライチェーン全体の生産性向上に取り組めます。あわせて、デジタル化対応やサイバーセキュリティ対策に関する情報共有・支援に努めます。
- c. 専門人材マッチング
 - 様々な専門人材の活用を進め、取引先との知見共有や人材育成の観点からも、持続的な協力関係の構築を図ります。
- d. グリーン化の取組（脱・低炭素化技術の共同開発、省エネ診断に係る助言・支援、生産工程等の脱・低炭素化、グリーン調達等）
 - 環境負荷低減に向けた提案や協働、グリーン調達の推進に取り組めます。
- e. 健康経営に関する取組（健康経営に係るノウハウの提供、健康増進施策の共同実施等）
 - 従業員が安心して働ける職場づくりを進めるとともに、取引先の皆様とも健康経営や安全衛生に関する知見の共有に努めます。
- f. BCP/事業継続（取引先の災害時等の事業継続計画策定の助言等）
 - 災害・感染症・事故等の不測の事態に備え、取引先との情報共有や連携体制の強化を通じて、サプライチェーン全体の事業継続力向上に取り組めます。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

当社は、原材料価格、エネルギーコスト、物流費、人件費等の上昇について、取引先との十分な協議を行い、適切な価格転嫁が可能となるよう努めます。また、当社が関わるサプライチェーン全体の共存共栄のため、直接の取引先のみならず、その先の事業者も含めた連携・情報共有を意識し、本宣言の趣旨の浸透に努めます。

さらに、環境負荷低減、業務のデジタル化、災害時の事業継続対応等の分野において、取引先の皆様との協働を通じて、「四方よし」で持続可能で強靱なサプライチェーンの実現を目指します。

2026年4月29日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

株式会社 日吉

企業名

代表取締役社長 鈴木 正

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。